



【おうち英語】絵に描いた餅は嫌だ

私の日頃の消費に対する価値観は
【元を取れるかどうか】、コレに付きます。

浪速商人の末裔でもなくせに
「転んでもタダでは起きない」精神を継承している私。(どこから?誰から?)

そんな私にしては、
おうち英語には随分と採算を度外視して投資してきたように思います。

購入したのに使われなかった教材、洋書絵本、DVD など
負の遺産が部屋のクローゼットに隠蔽されていますが、
たとえそれを不良債権としても、
今、子どもたちが身に付けている能力を思えば
「元を取ったかな」と思えなくはなく。

例えば、おうち英語をやらずに英語習得を目的に
アメリカ又はオーストラリアに留学させたとしたら、
公費留学を利用したとしてもプログラム参加費だけで
1年で最低200万近くは掛かるでしょう。

全額私費留学だと年間400万円を超えるはずです。
今は円安なのでもっと掛かるでしょうね。。。

もしわが子二人を留学に出したら
400~800万、下手したら1000万という金額を
英語に投じることになっていたかも・・・。

その金額を投じることで英語をモノにできるのであればいいのですが、
過去に日本に留学してきた高校生をホームステイで何人が預かった経験から、
1年で身に付けられる言語能力というのは
期待するほどのものでもなかったりするということを知っているため、
私の中では留学は語学だけを目的にするのであれば
コスパは悪いものというイメージがあります。。。

もちろん留学で学べるのは語学だけではありませんが、
ここではその話は割愛させていただくこととします。

おうち英語のコスパの話に話を戻します。

おうち英語を続けてきて、気に入らないことがあったとすれば、
日本で販売・提供されている幼児向け英語教材・レッスンが高額すぎること!!!

「足元見やがって!」と口汚く言いたくなってしまいうくらいです。
(育ちが悪いのですみません...)

子どもの教育費には親の財布の紐が緩むことを見透かしての価格設定か!
とってしまいます。

投資金額が大きくても対費用効果が高いのであれば元が取れるので
私の価値観としては OK です。

でも日本で販売・提供されている数々のそれら、、、
対費用効果高いですかね?!

...そんなわけで私は
アメリカの Amazon から DVD や絵本を取り寄せたり、
スカイプレッスンにしても
無駄に日本人の子ども向けのカリキュラムになっているところは選びませんでした。

カリキュラムもいらない。日本語対応もいらない。
不要なサービスはコスパを下げするために排除しました。

サービスというより、むしろ害になるとすら思っていました...(^_^;

今、私が運営しているオンライン英会話スクールでも、
私はレッスンの質とコスパを追求しています。

もちろんフィリピン人の先生が安心して
生計を立てていけるレッスン料をいただくことは、
レッスンの質を保つために必要なため、
レッスン料は他のスクールに比べて激安ではありません。

しかし、無駄な経費はトコトン省いて
「この内容でこの価格?!」と良い意味で
思っただけのように頑張っております。

私が一番嫌いな物は「ドブにお金を捨てるような無駄金」です。

私自身、そんなお金の遣い方をしたくありませんし、
お節介ながら、私のスクールを利用してくださる会員様にも
そんなお金の遣い方をさせていただきたくありません。

レッスンにおける無駄金とは、
「何も残らない・何も得ることがない・何も成長させることのない」
レッスンだと思っています。

受講者の方の現状・問題点を見ることなく、
ただ淡々とカリキュラムを進めるようなレッスンであったり、
何年受けても進歩が見られないようなレッスンは提供したくないと思います。

自分がおうち英語をしてきた経験から、
おうち英語をされている方が求めておられることもよくわかっているつもりです。

オンラインレッスンには「英語が話せるようになること」、
フォニックスのレッスンには「読めるようになること、書けるようになること」
という明確な目的を持ってレッスンをご受講くださっているのだと
人一倍知っているからこそ、
その思いに応えられないようなレッスンは提供してはならないと思っているのです。

「長く続けてきたけれど英語ができるようにならなかったね。」というような
「英語を話せるようになる」という目的が
【絵に描いた餅】になってしまうようなレッスンを積み重ねてもらうことは、こ
の浪速魂が許さないのです。
(貴女、大阪出身じゃないでしょう。。。と誰かツッコミ入れて・・・)

事実、私が運営するスクールでは、
レッスンを食べられる餅を生むレッスンにしてくださっている方ばかりです。

それは私の理念が崇高で素晴らしいからではなくて、
【おうち英語】というものが
それを可能にしてくれているのだと私は知っています。

巷で英語教室を開いておられる先生方も、
学校の先生も、きっとどの児童英語・学校英語に携わる先生も
「自分の教室に通ってきてくれる子どもたちを、
教室にいるすべての子どもたちを、英語が話せるようにしたい」
と思ってレッスンを提供されていると思います。

中学校や高校の先生だって
目の前の生徒に力を付けさせてやりたいと
精一杯頑張っておられることは
自分自身の教員経験からもわかっています。

ただ英語だけでなく語学というものは、
週に数回の限られた時間だけで習得できるものではなく、
毎日毎日時間を作り、コツコツと取り組んでいく取り組みが欠かせないのです。

私のスクールに集ってくださっている方は、
おうち英語をベースに
日頃からコンスタントに英語に取り組んでくださっています。

スクールにすべて丸投げという方はいらっしゃいません。

そのおかげで、私も講師も、
おいしく食べられるお餅を搗くお手伝いをさせていただけるのです。

言ってみるなら、レッスンの前にすでにもち米が炊き上がっていて
臼にまで入れておいていただいているようなイメージです。

「さあ、搗きましょう!」というところまで
準備しておいていただけるのですから、
お餅ができますよね。

それに対して一般的なスクールに週数回通うだけの形になると、
「はい、今日はもち米を洗ってお水に付けるところまでやりましょう」となり、
次に炊こうと思ったら
「アレ、お水が全部蒸発しちゃってるわ!またお水を張りますよ。」
みたいなことになり、そんなことを繰り返していたら、
「アレ、時間切れ?お餅搗くところまでいかなかったわ〜〜」みたいな。
(どんな例え話だ・・・)

実際、高校で英語を教えていた時はその繰り返しでした。
「この前、教えたじゃん!」と何度心の中で思ったことか・・・。
でも人間の記憶力からしたら仕方がないですよ。。。
私も週に1回くらいしか接しない情報だったらほとんど覚えていません。

私が提供している Jolly Phonics のレッスンは、
通常の3倍以上の速さで進めています、その速度が可能になるのも
ご家庭でおうち英語に取り組んでくださっているからこそなのです。

そのレッスンの様は、もう3分クッキングのようです。
(また例え話スタート!)
「はい、次はこちらですね。」
「こちらにもうできたものがありますが。」という感じで、
先生が作っているのではなくて
事前にアシスタントが作ったもので番組が進んでいくように、
ドンドンレッスンを進行していくことができるのは、
受講者がおうち英語で
英語の読み書きの素地を経験値として持っている子たちだからです。

人生で一番大切なものは何かと問われれば、
この年齢になってくると「時」と答えざるを得なくなります。

時間だけは有限です。

お金という金銭的なコストも大切ですが、
おうち英語では時間を味方にもすることもできれば、
培った知識・センスで学ぶ時間を短縮することもでき、
お金以上のメリットがあると思わされます。

時間だけは取り戻すことができません。

タイムマシーンもない現代では、
「子どもが小さいころからおうち英語をしておけば良かったな」
と子どもが大きくなってから悔やんでも後の祭りです。

その時間的メリット、金銭的メリットを併せ持つ、
おうち英語ではありますが、
さらにその良さを引き出せるように
素敵なレッスンを提供していきたいと思うのです。

日本の英語教育を絵に描いた餅ではなく、食べられる餅に。

最終的な願いはそこですが、どう考えても大きすぎる願いですね、コレ・・・(^; ;

MommyKayo note 2020.12.22 投稿より引用